

友好を深めた笑顔の交流

中国江西省豊城市より訪問団が来町



言葉や文化の違いを乗り越え友好を深めた訪問団・安八町の皆さん

平成5年から教育交流を中心に相互交流を続け、平成19年に友好都市の協定を締結した中国江西省豊城市から、副市長の晏曉勤さんを団長とする政府友好訪問団（政府関係者6人）・教育訪問団（児童6人・教師6人）が、8月26日（日）から29日（水）までの4日間、安八町を訪問され交流を深めました。

訪問団は、28日（火）安八町役場を表敬訪問し、堀町長が歓迎の言葉を述べると、晏副市長は「安八町に来るのとても楽しみにしていました。この交流をより深め、今後とも末永く続くことを信じています。」とあいさつをされました。

滞在中、日本の古都である京都を訪れ、日本の文化や歴史を学び、また名森小学校や中央保育園視察では安八町の保育、教育環境の説明を受けました。

また、熱烈交流会では、安八町や豊城市の児童たちが互いに歌や踊りを披露するなど会場を盛り上げ、笑顔で交流を深めていました。



笑顔で交流した熱烈歓迎会

健康と長寿を願って

平成24年度 安八町敬老祝賀式開催

安八町敬老祝賀式が9月17日（月・祝）に行われ、招待された74歳以上の方1692人のうち、約550人の方が元気に出席されました。

式典では、堀町長が「昭和の激動の時代を生きられ、今日の住みよい立派な町づくりにご尽力していただきました皆さんに心からお礼とお祝いを申し上げます。また、皆さま一人ひとりに感謝の気持ちを込めて記念品をお届けさせていただきました。今後とも元気に過ごしてください」とあいさつし、米寿などを迎えられた方々に記念品を贈呈しました。

式典終了後は、リラックスタイムとして、ぎふ清流国体・清流大会のマスケット「ミナモト」といっしょに体操した後、アトラクションタイムとして「風音」によるオカリナ演奏や名古屋大須演芸場による落語や歌謡ショーが行われ、皆さんは大きな声をあげながら楽しめました。

今年、敬老を祝賀される方（70歳以上）は2416人となりました。町内最高齢者は、北今ヶ淵・杵ノ戸在住の白木ふみさん（102歳）で100歳以上の方が5人、90歳以上の方が121人お見えて、益々元気に毎日過ごされています。

なお、町職員が70歳以上の方の安否確認も兼ね、記念品をご自宅へお届けさせていただきますました。



▲ 90歳以上長寿者へ記念品贈呈



ご健康と長寿を願って万歳三唱